

プロ野球界を変えた漢

”現状を超えて、ひとのために働くとは何か”～行動と生きがいヒント～

【対談】

中畑 清 氏 × 木村 元彦 氏

元プロ野球選手

ノンフィクション作家



◆会場

岐阜県庁 1階ミナモホール

岐阜市藪田南2-1-1

◆日時 9月9日[水]

開場18:30 開演19:00(終了20:30)

主催:岐阜県(地方職員共済組合岐阜県支部)

公立学校共済組合岐阜支部

警察共済組合岐阜県支部

岐阜県職員組合

共催:岐阜県公立小中学校事務職員組合

入場無料

※定員超えた場合抽選

【司会進行】

岐阜県職員組合

内記 淳司 中央執行委員長

申込QRコード



注意事項等は
裏面を参照ください

プロ野球界を変えた漢

“現状を超えて、ひとのために働くとは何か”～行動と生きがいヒント～

セミナーの内容

社会を取り巻く環境が変化する中、わたしたちには主体的な行動力や柔軟な対応力が求められています。

本セミナーでは、現役選手及び監督として活躍してきた登壇者の経験談等を通じて、前向きな姿勢や主体的な行動の大切さを学び、仕事や今後の人生をより充実させるための「きっかけ」を提供します！

なお、本事業は県職員（組合員）向けに実施するものですが、登壇者の経験やメッセージは、職員に限らず、広く県民の皆さまにとっても、前向きに生きるためのヒントとなる普遍的な内容であることから、より多くの方に参加いただけるようご案内いたします。

登壇者プロフィール



なかはた きよし

中畑 清氏

1954年福島県生まれ。安積商業高校、駒沢大学を経て、1976年に読売巨人軍へ入団。1983年の日本シリーズではサヨナラ安打を放ち、“絶好調”“ヤッターマン”の異名で全国的な人気を博す。一方で、選手の権利や環境整備にも強い関心を寄せ、任意団体に過ぎなかったプロ野球選手会を労働組合としての選手会にすることに奮闘。現役選手の声を束ね、組織としての基盤づくりに尽力した。引退後は日本テレビの解説者やスポーツ紙の評論家として野球の魅力を伝え続け、のちに巨人軍の打撃コーチとしてチームをリーグ優勝・日本一へ導くなど指導者としても手腕を発揮。さらに横浜DeNAベイスターズ監督も務めるなど、現場とメディアの双方で長く日本野球を支えてきた。



きむら ゆきひこ

木村 元彦氏

1962年愛知県生まれ。中央大学文学部卒。アジア・東欧などの民族問題を中心に取材・執筆。『誇りドラガン・ストイコビッチの軌跡』、『悪者見参 ユーゴスラビアサッカー戦記』、『オシムの言葉』（すべて集英社）の3冊は“ユーゴサッカー三部作”と称され、さらには『オシムの言葉』で第16回ミズノスポーツライター賞最優秀賞を受賞。

著作「労組日本プロ野球選手会をつくった男たち」ではプロ野球界において選手たちが権利を獲得していく過程を、当事者への丹念な取材を通じて描き出した。球団やオーナーの力が圧倒的に強かった時代に、選手たちが「声を上げる」ことの意味、そして組織の中で利他の精神を貫こうとした人々の姿を浮き彫りにしている。

【申込に関する注意事項等】

定員：250名 申込期間：8/14～8/28

対象者：岐阜県内に在住、在勤または在学の方 ※未就学者の入場はご遠慮ください

※応募多数の場合は抽選とし、参加決定者には9月3日（木）までに応募時に入力いただいたメールアドレス宛てに通知します。

問合せ：代表：岐阜県職員組合 ✉kenshoku-rengo@wing.ocn.ne.jp

地方職員共済組合岐阜県支部 公立学校共済組合岐阜支部 警察共済組合岐阜県支部